

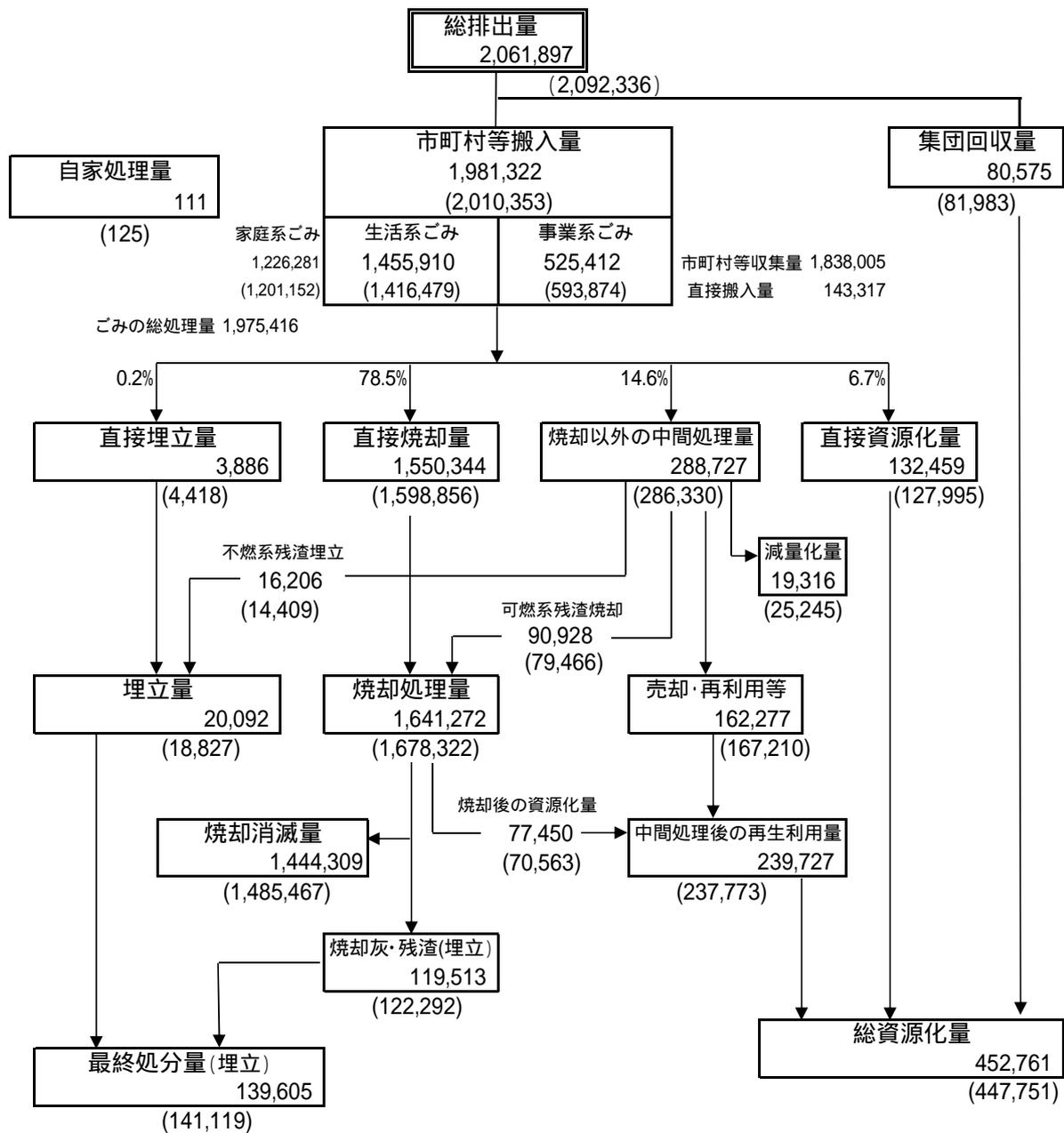
1. ごみ処理概要

(1) - 1 ごみの収集・処理量(ごみ処理フロー)

[単位:t/年]

令和2年度におけるごみ処理量は次のとおりである。

()は前年度数値



(前年度との比較)

	R2年度 (人口はR2.10.1現在)	R元年度 (人口はR1.10.1現在)	増減
人口*	631万9,756人	631万7,531人	+2,225人
	615万7,080人	615万5,797人	+1,283人
1人1日当たりの ごみの排出量	894(917)g/人・日	905(929)g/人・日	-11g(-12g)/人・日
1人1日当たりの 家庭系ごみの排出量	532(546)g/人・日	519(533)g/人・日	+13g(+13g)/人・日
1人1日当たりの 最終処分量	61(62)g/人・日	61(63)g/人・日	0g(-1g)/人・日
リサイクル率	22.0%	21.3%	+0.7%
処理経費 (建設費含む)	17,081(17,533)円/人・年	16,068(16,490)円/人・年	+1,013(+1,043)円/人・年

(注) *平成24年7月「住民基本台帳法」の一部改正により、平成24年度から人口には外国人住民数が含まれる。前年度との比較のため、外国人住民数を除いた人口を下欄に併記し、1人当たりの計算には外国人住民数を除いた人口で計算した値を()内に記した。

【各項目の説明】

ごみの総排出量

$$\begin{aligned}
 * \text{ごみの総排出量} &= \text{市町村等搬入量} + \text{集団回収量} && 2,061,897 \quad [\text{t} / \text{年}] \\
 \text{市町村等搬入量} &= \text{市町村等収集量} + \text{直接搬入量} && = 1,981,322 \quad [\text{t} / \text{年}] \\
 \text{ごみの総処理量} &= \text{直接埋立量} + \text{直接焼却量} + \text{焼却以外の中間処理量} + \text{直接資源} && 1,975,416 \quad [\text{t} / \text{年}]
 \end{aligned}$$

(注) *ごみの総排出量は、環境省統計にあわせ、従来の「市町村等処理量 + 自家処理量」より上記に変更

ごみの排出原単位(1人が1日に排出するごみの量)

$$\text{ごみの排出原単位} = \frac{\text{ごみの総排出量}}{\text{ごみの計画処理区域人口} \times 365 \text{日}} = 894 \quad (917^*) \quad [\text{g} / \text{人} \cdot \text{日}]$$

$$\text{家庭系ごみの排出原単位} = \frac{* \text{家庭系ごみの総排出量}}{\text{ごみの計画処理区域人口} \times 365 \text{日}} = 532 \quad (546^*) \quad [\text{g} / \text{人} \cdot \text{日}]$$

(注) *家庭系ごみ排出量 = 「生活系ごみ排出量」 - 「生活系ごみ排出量のうち資源ごみ排出量」

(注) *ごみの計画処理区域人口は平成24年度から外国人を含んでいる。従来どおり外国人を除いた人口で計算した値を()内に記す。

ごみの焼却率

$$\begin{aligned}
 \text{焼却処理量} &= \text{直接焼却量} + * \text{可燃系残渣} = 1,641,272 \quad [\text{t} / \text{年}] \\
 \text{ごみの焼却率} &= \frac{\text{焼却処理量}}{\text{ごみの総処理量}} = 83.1 \quad \%
 \end{aligned}$$

(注) *可燃系残渣 = 焼却施設以外の中間処理施設から発生する可燃物

ごみの埋立率

$$\text{ごみの埋立率} = \frac{\text{最終処分量}}{\text{ごみの総処理量}} = 7.1 \quad \%$$

ごみの減量処理率

$$\begin{aligned}
 \text{ごみの減量処理率} &= \frac{\text{直接焼却量} + \text{焼却以外の中間処理量} + \text{直接資源化量}}{\text{ごみの総処理量}} \left[= \frac{\text{ごみの総処理量} - \text{直接埋立量}}{\text{ごみの総処理量}} \right] \\
 &= 99.8 \quad \%
 \end{aligned}$$

ごみの減量・減容処理率

$$\text{ごみの減量・減容処理率} = \frac{\text{ごみの総処理量} - \text{最終処分量(埋立)}}{\text{ごみの総処理量}} = 92.9 \quad \%$$

リサイクル率

$$\text{リサイクル率} = \frac{\text{総資源化量}}{\text{ごみの総処理量} + \text{集団回収量}} = 22.0 \quad \%$$

- ・総資源化量 = 直接資源化量 + 中間処理後の再生処理量 + 集団回収量
- ・ごみの総処理量 = 直接埋立量 + 直接焼却量 + 焼却以外の中間処理量 + 直接資源化量
- ・中間処理後の再生利用量とは、不燃ごみ・粗大ごみから回収した金属、エコメント化された焼却灰、資源化された溶融スラグ等
- ・直接資源化量 = 資源化等を行う施設を経ずに直接再生業者等に搬入される量
- ・集団回収量 = 市町村による用具の貸出、補助金の交付等で市町村登録された住民団体によって回収された量

県民1人1年当たりのごみ処理経費(建設改良費も含む)

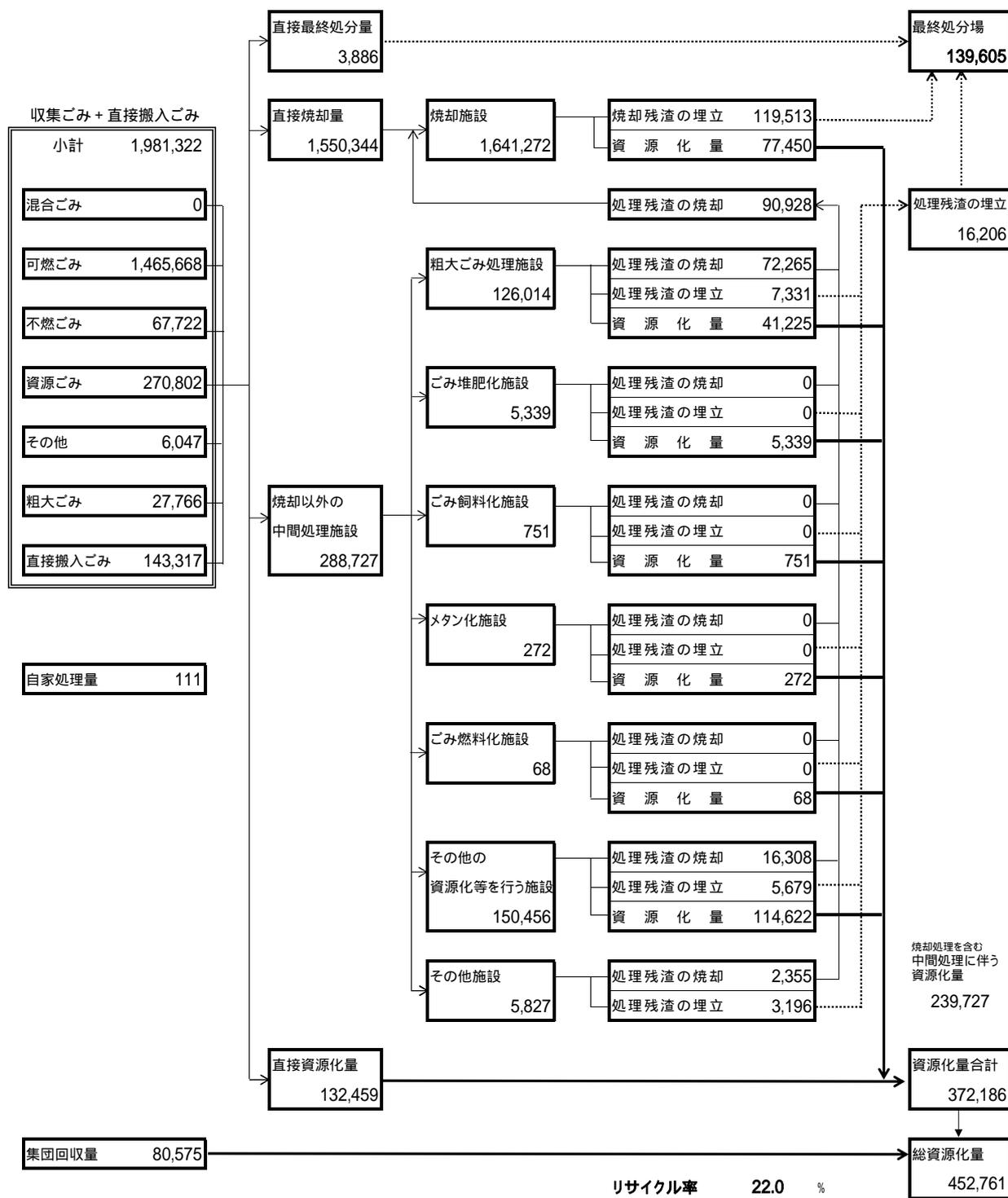
$$\begin{aligned}
 &= (\text{廃棄物処理事業経費} - \text{組合分担金}) \div \text{人口} \\
 &= 17,081 \quad (17,533^*) \quad [\text{円} / \text{人} \cdot \text{年}]
 \end{aligned}$$

(注) *県人口は平成24年度から外国人を含んでいる。従来どおり外国人を除いた人口で計算した値を()内に記した。

市町村等搬入量と直接埋立量、直接焼却量、焼却以外の中間処理量、直接資源化量の合計値は一致しない。この理由として、処理施設における搬入と処理の時間のずれ、計量方法の違いなどが考えられる。

(1)-2 ごみの処理フローシート(詳細)
(令和2年度実績)

[単位:t/年]



内訳の合計値と合わないのは、ばい煙発生や減量化等による減少分があるため。
ごみ燃料化施設の資源化量については、他施設へ搬入後に当施設に搬入され、資源化している分を含むため。

(2)ごみの処理人口内訳 (人)

計画処理区域人口内訳	
計画収集人口	自家処理人口
6,319,756	0

人口は令和2年10月1日現在

(3)収集・搬入状況 (t/年)

ごみ総排出量	ごみの種類	収集量	収集形態別内訳				形態別ごみ搬入量	
			直営	委託	許可	小計	生活系ごみ	事業系ごみ
ごみ総排出量	可燃ごみ	1,465,668	直営	114,784	134,866	直営 (小計)	1,455,910	
			委託	944,499				
			許可	406,385				
	不燃ごみ	67,722	直営	9,779	1,241,601	委託 (小計)		
			委託	55,222				
			許可	2,721				
	資源ごみ	270,802	直営	6,587	461,538	許可 (小計)	525,412	
			委託	214,698				
			許可	49,517				
	その他	6,047	直営	1,617	1,981,322	搬入量 (収集量+直搬)		
			委託	4,220				
			許可	210				
	粗大ごみ	27,766	直営	2,099	80,575	集団回収量		
委託			22,962					
許可			2,705					
小計	1,838,005							
直接搬入ごみ	143,317							
集団回収量				80,575				
合計				2,061,897				

(4)処理状況 (t/年)

市町村処理量				集団回収量	自家処理量
直接焼却量	焼却以外の 中間処理量	直接埋立量	直接資源化量		
1,550,344	288,727	3,886	132,459	80,575	111
1,975,416					
2,055,991					

(5)資源化の状況

区分	直接資源化量	施設処理に伴う 資源化量	集団回収量	合計
資源化量(t)	132,459	239,727	80,575	452,761
構成割合(%)	29.3	52.9	17.8	100.0

施設処理(中間処理)に伴う資源化量の施設別内訳

施設区分	焼却施設	粗大ごみ 処理施設	ごみ堆肥化施設	ごみ飼料化施設	メタン化施設	ごみ燃料化施設	その他 資源化施設
資源化量(t)	77,450	41,225	5,339	751	272	68	114,622

資源化量の資源化物回収別内訳

(t/年)

	直接資源化量	施設資源化量	集団回収量
紙類	90,905	19,574	63,572
紙パック	300	108	192
紙製容器包装	3,284	2,309	437
金属類	1,923	50,907	3,824
ガラス類	1,769	33,471	5,255
ペットボトル	1,824	13,723	1,896
白色トレイ	5	654	
容器包装プラスチック	183	23,546	
プラスチック類	14	1,347	1
布類	6,494	4,627	5,394
肥料		5,734	
飼料		751	
溶融スラグ		48,247	
固形燃料		68	
燃料		272	
セメント原料化		11,821	
セメント工場直投			
山元還元		1,649	
廃食用油	50	10	
その他	25,708	20,909	4
合計	132,459	239,727	80,575